

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年7月) —低失業率だが、横ばいでの推移が続く

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

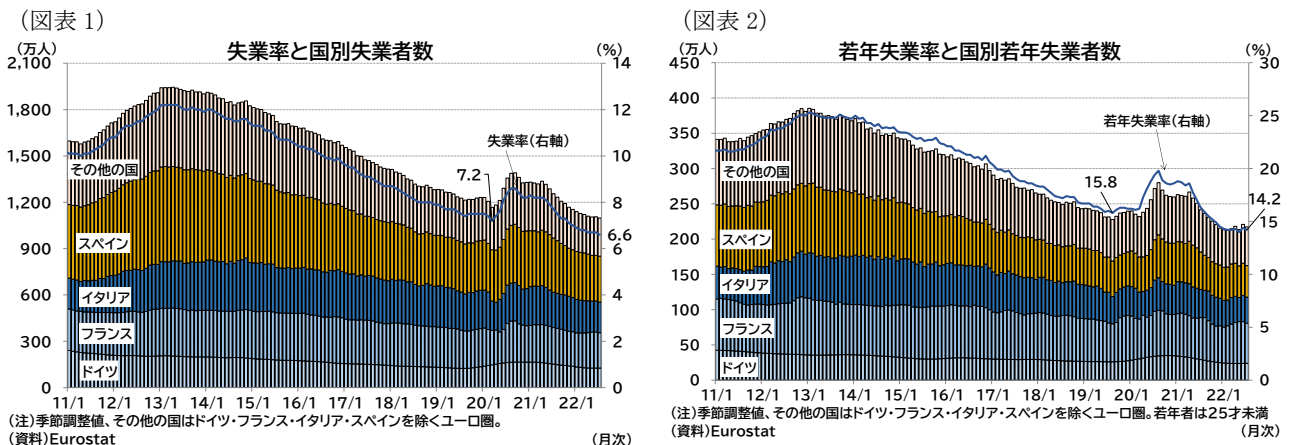
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要:6%台半ばでの推移が続く

9月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

【ユーロ圏 19 か国失業率（2022年7月、季節調整値）】

- ・失業率は6.6%、市場予想¹（6.6%）と同じで、前月（6.7%）から低下した（図表1）
- ・失業者は1098.3万人となり、前月（1106.0万人）から7.7万人減少した



2. 結果の詳細:若年失業率は再び上昇

ユーロ圏の22年7月の失業率は6.6%で、前月（6.7%）からやや低下した（図表3）。今回公表された6月以前の失業率はやや悪化方向に改定されており（6月改定前：6.6%→改定後：6.7%、5月改定前：6.6%→改定後：6.7%、4月改定前：6.6%→改定後：6.7%、3月改定前：6.7%→改定後：6.8%）、7月の6.6%は統計データ公表以来の最低値を更新したことになる。

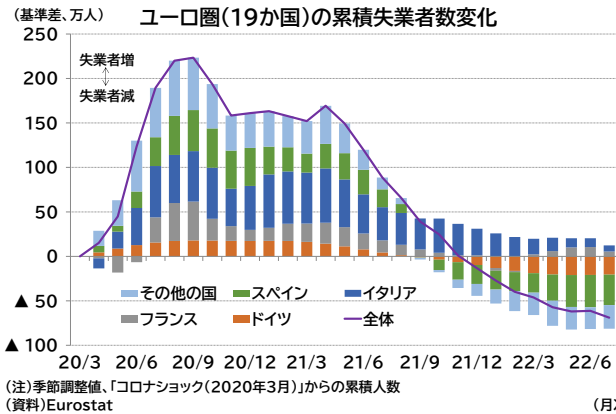
失業者数は7月の前月差で7.7万人減となり6月の増加（6月改定値：+0.7万人）から再び減少に転じている（図表3・4）。主要国ではスペイン（+2.0万人）とドイツ（+0.4万人）が増加、フランス（▲5.0万人）とイタリア（▲3.1万人）が減少だった。

7月の若年失業率は14.2%で6月（14.4%）から低下した（図表2）。ただし、6月以前の数値は大幅に悪化方向に改定されている（6月：13.6→14.4%、5月13.2→14.0%、4月13.8→14.2%な

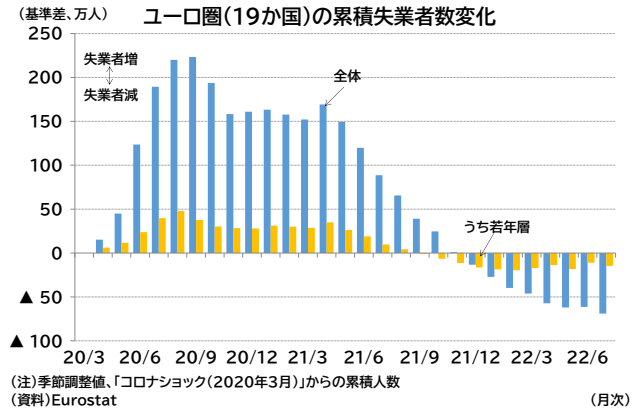
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

ど)。若年失業者数は7月で217.3万人（前月差▲3.5万人）となり、前月から減少した（図表4）。

（図表3）

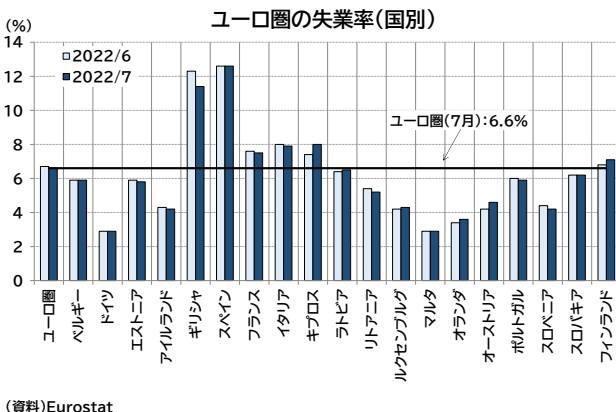


（図表4）

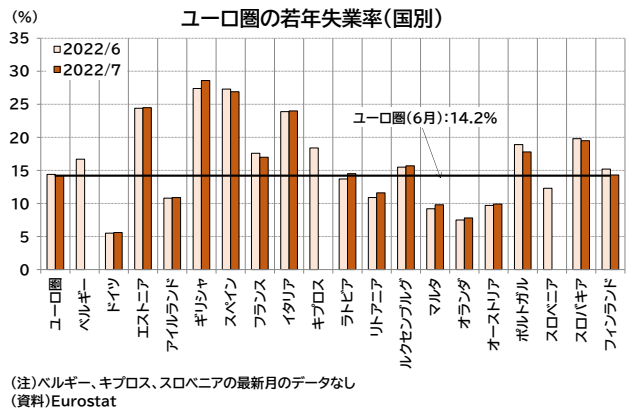


国別の7月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている19か国中、悪化した国が6か国、改善が8か国、横ばいが5か国だった（図表5）。また、若年失業率ではデータが公表されている16か国中、悪化した国が11か国、改善した国が5か国だった（図表6）。

（図表5）

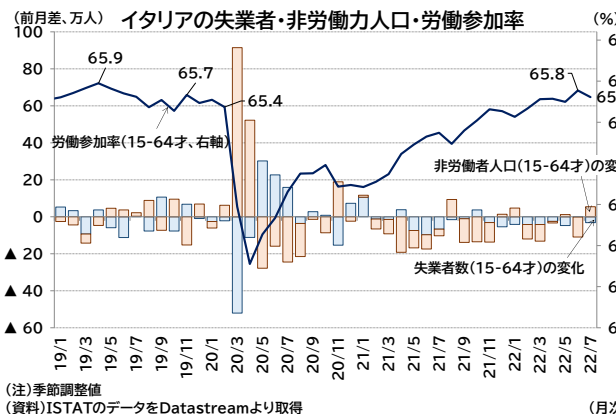


（図表6）

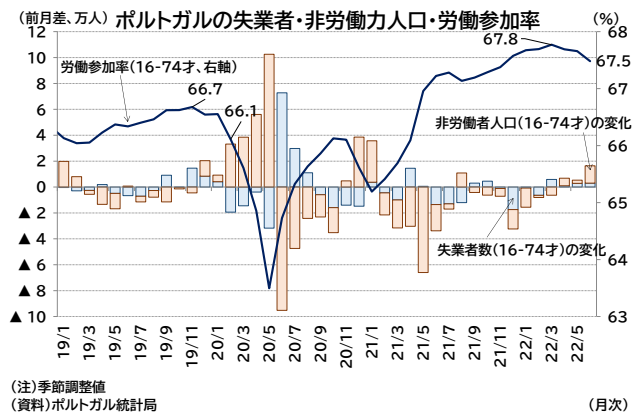


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアもポルトガルも失業者が減少する一方で非労働力人口が増加したため就業者数は減少した（図表7）。労働参加率はイタリアで65.6%でありほぼコロナ禍前と同じ水準、ポルトガルで67.7%でありコロナ禍前と比較してもかなり高い水準にある。雇用の改善ペースは足踏みしている状況と言えるが、雇用環境としてはコロナ禍前と比較しても良好な状況が継続しているものと見られる。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。